

## CS こひつじ科礼拝式次第

2022年9月11日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。」  
ローマの信徒への手紙 8章28節

53、あさです（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 出エジプト記2章1～3節

レビの家の出のある男が同じレビ人の娘をめとった。彼女は身ごもり、男の子を産んだが、その子がかわいかったのを見て、三か月の間隠しておいた。しかし、もはや隠しきれなくなったので、パピルス製の籠を用意し、アスファルトとピッチで防水し、その中に男の子を入れ、ナイル河畔の葦の茂みの間に置いた。

おはなしとおいのり 「モーセの誕生」 門脇献一校長

ある家に一人の男の子が生まれました。ふつうならみんなでお祝いをするでしょうが、この男の子は3ヶ月間ずっと隠され、ついにかごに入れられてナイル川の草の生い茂った川岸に置き去りにされました。なぜ、こんなひどいことをするのでしょうか？それはエジプトの王様が「生まれてくる男の子はみんなナイル川に流せ」と命令していたからです。そのずっと昔、ヤコブさんの家族は一家でエジプトに移り住みました。エジプトには干ばつでも食べ物があり、ヤコブの息子のヨセフさんが大臣をしていたからです。ヤコブさんの家族から大勢の子孫が生まれ、イスラエル民族として力も強くなってきました。やがて、ヨセフさんのことを知らない王様がイスラエルを警戒して、イスラエルの民の力を弱めようときつい仕事をさせましたが、かえってイスラエルの民はますます数を増やしていきました。それでとうとう「生まれてくる男の子は川に流せ！」ということになったのです。レビの家もイスラエルの民でしたので、生まれてきた男の子はナイル川に流さねばなりません。でもそんな命令にはできれば従いたくありません。こっそりと赤ちゃんを育てておりましたが、だんだんと泣き声も大きくなり隠しきれなくなり、水が入ってこないようにタールをしっかりと塗った草のかごに男の子を入れ、ナイル川に岸の流れのおだやかな草むらの川面にかごをそっと置きました。そしてこの子のお姉さんが物かげからかごの様子をうかがっておりました。その川岸に女の人たちが水浴びにやってきました。それはエジプトの王様の娘である王女でした。そうして川面に浮かぶかごの中で泣いている赤ちゃんを見つけました。王様の命令を知っていた王女は、「これはきっとイスラエルの人たちの子どもだわ」と大変気の毒がりました。そのときです。こっそり見張っていたお姉さんは王女の前に来て、「この子にお乳を飲ませることのできる女の人を連れてきましょうか。」といました。「ぜひそうしておくれ」、「はい」。こうして、この子を産んだ本当の母親を連れてきました。「この子にお乳をあげて育ててください。そして大きくなったら私のところに連れてきてください。この子を私の子として育てます。」

さて、この男の子の名前がお分かりですか？そう、「モーセ」さんです。神様の不思議なお導きで、モー

セさんはお母さんのもとの安全に育てられ、そして、エジプトの王さまの家の子どもとして成長することになったのです。このことは、すべて神様がモーセさんを選んで、モーセさんによってイスラエルの民をエジプトからカナンまで導くための備えであったのです。そのとき人の目にはよくわからなくても、神様はイエスラエルの民を救うみ業を進められていたのです。

わたしたちは、イエス様によって罪から救われました。そして今救いの完成にむかって時が進んでおります。私たちの目にはよくわからないかもしれませんが、神様は今もその救いのみ業を確かに進められているということを信じましょう。

おいのり

神様、今日はモーセさんの誕生の物語を学ぶことができました。神様がイスラエルの救いのために着実に備えをされたことをしり、神様のみ業をほめたたえます。今もあなたは救いの完成に向けてあらゆるところで働かれておられることを信じ、あなたにより頼むことができますように。

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

33、しゅイエスのひつじ (こどもさんびかをお用いください)